

第6期 計 算 書 類

(2025年7月1日から 2026年6月30日まで)

株式会社 メルコイン

貸 借 対 照 表

(2026年6月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	27,111	流動負債	24,633
現金及び預金	2,076	未払金	202
売掛金	70	利用者からの預り金	864
未収消費税等	88	利用者からの預り暗号資産	23,529
預託金	893	その他	37
預け金	200	負債合計	24,633
利用者暗号資産	23,529	(純資産の部)	
その他	252	株主資本	2,780
固定資産	303	資本金	100
有形固定資産	0	資本剰余金	4,124
工具、器具及び備品	0	その他資本剰余金	4,124
投資その他の資産	303	利益剰余金	△ 1,443
繰延税金資産	303	その他利益剰余金	△ 1,443
		繰越利益剰余金	△ 1,443
		純資産合計	2,780
資産合計	27,414	負債純資産合計	27,414

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(2025年7月1日から
2026年6月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
営業収益		1,741
暗号資産売買等損益	1,676	
受入手数料	64	
営業費用		2,733
販売費及び一般管理費	2,733	
営業損失（△）		△ 992
営業外収益		0
営業外費用		0
経常損失（△）		△ 993
特別利益		-
特別損失		-
税引前当期純損失（△）		△ 993
法人税、住民税及び事業税	219	
法人税等調整額	39	258
当期純損失（△）		△ 734

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(2025年7月1日から
2026年6月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本 合計
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金	利益 剰余金 合計	
					繰越利益 剰余金		
当期首残高	100	-	4,124	4,124	△ 708	△ 708	3,515
当期変動額							
当期純損失 (△)	-	-	-	-	△ 734	△ 734	△ 734
当期変動額合計	-	-	-	-	△ 734	△ 734	△ 734
当期末残高	100	-	4,124	4,124	△ 1,443	△ 1,443	2,780

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は「会社計算規則」（平成18年2月7日法務省令第13号）の規定に準拠して作成しております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 暗号資産の評価基準及び評価方法

活発な市場が存在する暗号資産は時価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

1 有形固定資産

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は、次のとおりであります。

工具、器具及び備品 6～20年

(3) 引当金の計上基準

1 ポイント引当金

将来のポイント使用による費用の発生に備えるため、当事業年度末において将来使用されると見込まれる額を計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

1 媒介取引

当社は、提携先である暗号資産交換業者（以下「提携先」という。）に対し、業務提携契約に基づき、当社の暗号資産取引画面を通じて、お客さまが提携先に連携口座を開設し、当該口座を通じて提携先との間で行う暗号資産の売買の媒介業務並びにこれらに付随する役務を提供しております。

当該役務に係る対価は媒介手数料及びレベニューシェアにより構成されており、それぞれ次のとおり収益を認識し、損益計算書上の受入手数料に計上しております。

1 媒介手数料

媒介手数料は、当社が提携先に対して上記役務を継続的に提供することの対価として受領するものであり、当該履行義務は契約期間にわたり充足されることから、契約期間にわたって時の経過に応じて定額により収益を認識しております。

2 レベニューシェア

レベニューシェアは、お客さまが連携口座を通じて提携先との間で行う暗号資産の売買の媒介に係るものであり、当該媒介に係る履行義務は個々の取引が約定した時点で充足されることから、提携先における取引の約定時点で収益を認識しております。

2 ステージング

当社は、自らがバリデーターとしてブロックチェーンの安定稼働に貢献するステージング活動を実施しており、当該活動に伴う損失（バリデーター違反等によるスラッシングを含む。）が発生した場合の補填責任は当社が負担していることから、当該活動は当社の自己の取引として取り扱っております。当該履行義務は、バリデーターとしてブロックチェーンネットワーク上でブロックの検証及び提案並びに取引の承認を行うことであり、当該役務の遂行に応じてブロックチェーンネットワーク上で報酬が確定した時

点で履行義務の充足が確認されることから、報酬の確定時点で収益を認識しております。当該活動により受領した活発な市場が存在する暗号資産は、市場価格に基づく価額をもって貸借対照表上の自己保有暗号資産に計上するとともに、損益計算書上の暗号資産売買等損益として計上しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

1 暗号資産取引に係る会計処理

当社は、お客さまとの間で自己が取引の相手方となり暗号資産の売買を行う暗号資産販売所サービスを提供しております。当該取引に係る決済損益及び評価損益は、損益計算書上の暗号資産売買等損益として計上しております。

活発な市場が存在する保有暗号資産は、市場価格に基づく価額をもって貸借対照表上の自己保有暗号資産に計上するとともに、帳簿価額との差額は損益計算書上の暗号資産売買等損益として計上しております。

お客さまからの預り暗号資産は、貸借対照表上の利用者暗号資産及び利用者からの預り暗号資産としてそれぞれ資産及び負債に計上し、活発な市場が存在する保有暗号資産と同様の方法により評価を行っており、評価損益は計上しておりません。

お客さまからの預り金は、資金決済法第63条の11第1項の規定に基づき、暗号資産交換業者に関する内閣府令第26条第1項に定める要件を充足する信託会社等への金銭信託を設定する方法により分別管理しており、貸借対照表上の預託金及び利用者からの預り金としてそれぞれ資産及び負債に計上しております。

2 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

3 グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

工具、器具及び備品	0百万円
-----------	------

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	4百万円
--------	------

短期金銭債務	76百万円
--------	-------

3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

営業取引による取引高	0百万円
------------	------

営業取引以外の取引による取引高	221百万円
-----------------	--------

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式	8,660株	- 株	- 株	8,660株

(2) 剰余金の配当に関する事項

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当事業年度に属する配当のうち配当の効力発生日が翌事業年度になるもの

該当事項はありません。

5. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：百万円)

繰延税金資産

税務上の繰越欠損金	586
減価償却超過額	297
未払金	73
その他	3
繰延税金資産小計	960
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	586
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	70
評価性引当額小計	657
繰延税金資産合計	303

(2) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

1 金融商品に対する取組方針

当社は、一時的な余資は短期的な預金で運用し、必要な資金は主に自己資金、親会社からの増資及び借入による資金調達により賄っております。

2 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

預金はすべて普通預金であり、預け先の信用リスクを有しておりますが、預入の銀行はいずれも信用度の高い銀行であります。預託金は、資金決済に関する法律に基づき利用者から預託を受けた金銭を信託しているもの（利用者区分管理信託）であり、預け先の信用リスクを有しておりますが、信託先は信用度の高い信託会社であります。営業債権である売掛金に係る取引先の信用リスクは、回収状況をモニタリングし、リスクの低減を図っております。預け金は、暗号資産の売買を行うために取引先に預け入れている金銭であり、当該取引先の信用リスクを有しておりますが、取引先の財務状況及び取引状況を勘案して預入残高を適宜見直すことにより、リスクの低減を図っております。未払金は流動性リスクに晒されておりますが、適時に資金繰りを確認するなどの方法により管理しております。暗号資産関連デリバティブは市場リスクを有しておりますが、暗号資産関連デリバティブにより自己保有暗号資産の価格変動リスクをヘッジすることを目的にのみ保有しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2026年6月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金及び預金、売掛金、未収消費税等、預託金、預け金、未払金、利用者からの預り金は時価が帳簿価額に近似することから注記を省略しております。

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
デリバティブ取引	2	2	-

（注1）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、△で示しております。

（注2）金融商品の時価の算定方法

デリバティブ取引

デリバティブ取引は、店頭暗号資産証拠金取引であります。店頭暗号資産証拠金取引の時価は、原資産が活発な市場が存在する暗号資産であることから、時価は事業年度末の市場価格により算定しております。

区分	種類	契約額等（百万円）		時価 （百万円）	評価損益 （百万円）
			うち1年超		
店頭	暗号資産証拠金取引 売建	97	-	2	2

7. 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等 の名称 又は氏 名	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	株式会社 メルカリ	被所有 直接 100.0%	役員の兼任 業務の委託	グループ通算制度に おける通算税効果額 (注2)	221	-	-
				資金の返済 (注3)	500	-	-
				利息の支払 (注3)	0	-	-

1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておりません。
2. グループ通算制度による通算税効果額の授受であります。
3. 資金の借入条件については、市場金利を勘案して決定しています。なお、担保は差し入れていません。

8. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	321,114円96銭
1株当たり当期純損失(△)	△84,822円50銭

9. 暗号資産に関する注記

- (1) 自己が保有する暗号資産の貸借対照表価額の合計額 117百万円
- (2) 預託者から預かっている暗号資産の貸借対照表価額の合計額 23,529百万円
- (3) 保有する暗号資産の種類ごとの保有数量及び貸借対照表計上額
活発な市場が存在する暗号資産

	数量	貸借対照表計上額 (百万円)
BTC（ビットコイン）	1,866 BTC	17,769
ETH（イーサリアム）	17,307 ETH	4,415
XRP(エクスアールピー)	8,643,219 XRP	1,461
暗号資産合計		23,647

10. 重要な後発事象に関する注記
該当事項はありません。